

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

世帯と人口

6月1日現在・() 内対前月比

世帯	45,341	(+ 74)
人口	120,420人	(+ 84)
男	61,352人	(+ 51)
女	59,068人	(+ 33)

広報 えびな

中央公園でお披露目された国分御輿。「国分」の半てんは保存会、「七重」の半てんは睦会のみなさん



えびな模様

地域の絆深める国分御輿

海老名青年会議所のイベントで賑わう中央公園に、威勢のよい掛け声とともに一基のみこしが登場、会場を練り歩いてまつりの雰囲気盛り上げました。地域の絆を深め、伝統を築こうと、国分の人たちが立ち上げた「国分御輿」お披露目の瞬間です。

住民の想い宿ったみこしが完成

国分御輿は、みこし愛好者で構成された「国分七重睦会（中里由美男会長・会員40人）」が、宮大工の流れをくむ市内の知人に、3年前から発注していたもので、重さは約500kg、担ぎ棒は約7m、担ぎ手は約30人。丹沢系のケヤキを使い、金色の鳳凰が飾られた大ぶりのみこしです。

同睦会では、みこしの楽しさを多くの人と分かち合うため、完成を機に地域の共有財産として活用してほしい、と地元へ働きかけました。その結果、国分自治会連絡協議会の有志に加え、同地区の各商店街、中央・望地自治会有志などからも賛同を得て、みこしの保存・管理を行う「国分御輿保存会（倉橋正美会長・会員75人）」が発足し、5月18日に設立総会が行われました。

設立総会の日、前述したみこしの練り歩きも行われました。市内各地の保存会もお祝いに駆けつけたお披露目は、30分程度の短い時間でしたが、「夢にまで見た地元のみこしが担いで、最高の気分！」（睦会）「これからは、このみこしを通して地域の連帯感を強めたり、子どもたちの健全育成に役立てていきたい。今日はその第一歩です（保存会）」と、両会員はやや興奮きみに喜びを話していました。

職業も千差万別、考え方もさまざまな初対面の人たちでも、担いでいる間はみんな無心になり、ひとつになれることがみこしの魅力、この魅力を継承していきたい、とする睦会。一方、伝統や文化にふれあえる機会が少なくなってきた今、若い世代がみこしに魅力を感じ、伝統に興味を持ち、地元へ愛着をもってくれよう、着実に第二步、第三步を歩んで行きたい、とする保存会。国分御輿には、こうした国分の人たちの想いが宿り、その想いを国分の人たちが担ぐことで、新たな絆と伝統が築かれていくのではないのでしょうか。

ふるさとまつりで市内デビュー

今月27日の「えびなふるさとまつり」で、国分御輿は全市に向けてデビューを飾ります。心を無にして全員がひとつになれる喜びを、両会員は今から楽しみにしています。